

キャリア教育 各学校の実践

〈多古町立久賀小学校〉



6年「ゆめにむかって」

今年度は子供たちが将来就きたい職業の中から、6つの事業所の方を講師としてお迎えし、講話をいただきました。話を聞く中で、子供たちなりのそれぞれの職業の「働くやりがい」が見えてきました。

○飼い主さんがとても喜んでくれること、汚れていた動物がきれいになったこと。(トリマー)

○子供たちが元気に遊ぶ姿や、成長を見られること。(保育士)

○患者さんの痛みがなくなったこと、患者さんからのお礼の言葉。(理学療法士)

○多くの人がゲームを楽しんでくれること、喜んでくれること。(ゲーム制作会社)

○デザインをして出来上がったことや思いが伝わったこと。(デザイン会社)

○子供たちが頑張っている姿やできるようになったり成長したりする姿が見られたとき。子供たちが笑顔で楽しそうにしている様子を見ること。(教員)

この学習のはじめでは、「人々はどんな思いで働いているのか」という問いに対し、多くの児童が「生活するため、家族のために働く」という旨の記述をしていました。学習を終えて、同じ問いについて再度考えると、「誰かのためになりたい」「相手に喜んでもらいたい」という旨の内容も多くの児童が記述していました。

今回の学習を通して、子供たちは世の中に様々な職業があることを知るとともに、「働くこと」についての考えを少し広げられたのではないかと思います。



【ゲーム会社とリモートでの授業】



【理学療法の体験】

〈多古町立多古第一小学校〉



5・6年「稲刈り体験学習」

農家の山口さんの田んぼを提供していただき、鎌を使って稲を刈り、藁でしばって干すまでの作業を体験しました。初めての体験に米作りの大変さや難しさを感じながらも、農業の楽しさや大切さを感じる貴重な体験ができました。

○最初は、鎌の使い方や藁で縄を作ることに苦戦しましたが、こつを掴むと上手にできるようになり嬉しかったです。

○小さかった稲がこんなに大きくなったのは、農家の人たちが愛情をもって大切に育てたからだと感じました。この体験で農業の大変さと面白さを味わうことができました。



【藁で縄の作り方を教わる】

6年「夢に向かって（大先輩に教わろう）」

多古ロータリークラブの方々が、これまでの経験を生かして、よりよく働くための工夫や働くことの意味、大切さを教えてくださいました。子供達にとって、将来の自分を考える貴重な体験となりました。

○挨拶や礼儀、人との協力など、今学んでいることが社会に出てからも大切だと教えていただきました。

○人に喜んでもらえたり感謝されたりする時に働く喜びを感じると伺い、働くことが楽しみになりました。



【大先輩をお招きして】

〈多古町立中村小学校〉



【店員さんに変身】

1年「家庭教育学級」

家庭教育学級事業の一つとして、職業体験施設「カンドゥー」に行きました。カンドゥーは、あこがれの職業人に変身できるテーマパークです。子供たちは、警察官やファッションモデルなどに変身し、将来の仕事に夢をふくらませていました。

○しょうぼうしになって、ホースをもってえいぞうにうつるかじをけしました。

○モデルできれいなみずいろのドレスをきました。

○CAさんのおしごとたいけんで、おかあさんにジュースをつぎました。テーブルをおろしたり、あげたりしました。カートをうごかしたりもしました。たのしかったです。

6年「空育」

空育は、文字通り「空」を通して、職業や将来の夢などを考える学習です。コロナ禍のため、リモートで行いました。成田国際空港やJALグループの御協力で、空港のことやパイロットの仕事について生の声を聞くことができ、貴重な体験となりました。

○「ラーメン」という空路があることを知りました。空路は、面白い名前がたくさんあるそうなので、ほかにもどんな名前があるのか調べてみたいです。

○一回のフライトで、多額の費用がかかっていることが分かり、とてもおどろきました。

○乗客の安全を第一に考えて、操縦の練習や不審者対応訓練を行っていることが分かりました。



【パイロットの話聞く児童】

〈多古町立多古中学校〉

1年「道セミナー」

多古中学校では、地域教育力を活用し、文化的教養の向上を図るとともに、中学生と地域住民との交流の深化を図ることを目的として「道セミナー」を行っています。今年度も、成田国際空港に発着する航空会社の方を講師としてお迎えし、リモートで講話をいただきました。

○今回の講話を聞いて、今までよりも成田空港やパイロットの仕事にとっても興味がわきました。成田空港には、「地域共生部」という部署があること、パイロットは機種ごとに免許を取らないといけないことなど、知らないことばかりで、自分の学びにつながりました。



【リモート開催の様子】

○成田空港での仕事は、パイロット、CA、管制官などしかないと思っていました。しかし、他にも清掃業や飲食店などもあることを知り、飛行機に乗る時以外でのサービスも充実していることがわかりました。私も成田空港で働いてみたいと思いました。

○成田空港では、たくさんの人々が様々な仕事をしていることがわかった。仕事には、チームワークや誰とでも話すことができる能力があったほうがいいと感じた。私も努力を続け、いろいろなことに挑戦していきたい。

【真剣に講話を聞く生徒たち】

2年「人セミナー」

多古中学校では、2年生になると3日間の職場体験学習があります。また、多古町で働いている方をゲストとしてお招きし、仕事について講話をいただく「人セミナー」があります。今年度はコロナ禍のため、職場体験学習を行うことはできませんでした。

しかし、「人セミナー」で来ていただいた講師の方々から、働くことの意義や人生観を学ぶことができたようです。

○私は「人セミナー」でたくさんのことを学びました。講師の方のお話を聞いて、「勉強をもっとやっておけばよかった。」とおっしゃっていました。その言葉を聞いて、今からでももっと勉強を頑張ろうと思いました。

○私は講師の方の言葉で、「後悔せずに次こうしようとする。」という言葉が心に残りました。私はよくネガティブな考えになってしまうので、これを聞いてとてもありがたかったです。これからポジティブに考えていこうと思います。

中学校3年生は進路決定に向けて、1・2年生は自分の将来の夢について考える時期です。将来の自分の姿をイメージし、進む道のりについてしっかりと考えられるように、これからも指導していきます。



【仕事について質問する生徒】

多古町キャリア教育事業

「花交流」や「英語交流」は多古町教育研究協議会「夢を育む教育事業」の一環として行われています。

《花交流》



＜中村小学校3年＞

多古高校の生徒に教えていただきながら、3年生がサイネリアの種まきをしました。高校生に助けてもらいながら、根気強く取り組んでいました。育ったサイネリアは、卒業式などで活用します。

○私が花交流で一番楽しかったことは、土作りです。たねをまく前にひりょうなどをまくのが大切だと思いました。きれいな花がさいてほしいです。

○ぼくは、花交流で高校生のお兄さんに種まきを教えてもらいました。種の大きさ、土の種類など、はじめて知ったことがたくさんあり、楽しかったです。



【土作りをする児童】

《英語交流》



＜多古第一小学校5年＞

多古高校の生徒3名をお迎えして、英語の学習を一緒に行いました。久賀小、中村小でも同様に5年生児童が英語学習を通して多古高校との交流事業を行っています。

○はじめは緊張したけれど、高校生の自己紹介のあとは楽しく学習することができました。英語を上手に話す姿を見てさすがだなと思いました。

○高校生にインタビューをしました。質問すると、笑顔で答えてくれました。これからも、たくさん英語でコミュニケーションができるようにしたいです。



【高校生と一緒に】

多古町教育研究協議会 キャリア教育研究部 広報紙

多古町キャリア通信

GIGA スクール構想を活用したキャリア教育をめざして

多古町教育研究協議会キャリア教育研究部 部長 名上 健一

今年度もコロナ感染拡大防止のため、それぞれの学校ではキャリア教育には十分な指導や時間をかけることができなかった。しかしながら、キャリア教育の指導は、学習指導要領にもあるように、教育活動全体を通して行うものである。コロナ禍においても各学校の教育活動が、児童生徒にキャリア教育の目的を意識させ、目標を達成させるものになっていなければならない。その意味では、今年度は学校の特色を生かしたキャリア教育を推進することができたともいえる。

今年度の各学校のキャリア教育の取組は、コロナ禍だからこそ、学校だけでなく家庭や地域の力を効率よく活用したものであるといえる。今までのように職場体験をしたり専門家を呼んで話を聞いたりして、働くことの意義や目的、社会人としての基本的能力や態度をストレートに学べる機会は、今後ますます減少してくる可能性もある。そこで、指導方法や地域連携の仕方等も含め、今の時代にあったキャリア教育を模索していく必要がある。

今年度より文科省のGIGA スクール構想により、各学校の全児童生徒に町からタブレットが配付されている。このGIGA スクール構想への各学校の取組が、今後のキャリア教育の変革の糸口になる。つまり情報を効果的に活用する力が、キャリア教育の軸になる。そう考えれば、今年度の各校におけるGIGA スクールの取組を、実態に合わせて取り入れたり発展させたりすれば、キャリア教育の軸を太くしていくことになる。各校の取組の発想はそのままキャリア教育の推進と変革につながっていくことになる。

次年度以降も今までの各校におけるキャリア教育の実績と新しく始まったGIGA スクール構想をうまく融合させ、時代に合ったキャリア教育を推進していければと思う。

キャリア教育研究部 広報班・調査班より

キャリア教育は、子供たちが将来、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けるために、教育活動内にある児童・生徒のキャリア発達を促すのに有効な諸要素（学習内容や指導方法、生活・学習習慣、体験的な活動）を、意図的かつ相互的につながらながら学校の教育活動全体で進められています。

新型コロナウイルスの影響で、今年度も小学生の「ゆめ・仕事ぴったりに体験」、中学生の「職場体験」が実施できませんでした。そこで広報班では昨年度に引き続き、仕事体験、職場体験以外の学校内におけるキャリア教育の実践を広報紙に掲載することにしました。これらは、特別活動を要しつつ、学校行事、総合的な学習の時間、社会科など各教科等の特質に応じたキャリア教育の実践となっています。コロナ禍ではありますが、可能な範囲で校外学習等に御協力いただいた事業所、関係各所の皆様には、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

また、調査班では、例年ですと仕事体験、職場体験に御協力をいただいた皆様に向けてアンケートを実施しています。しかしながら、各事業所での実習をすることができず、今年度もアンケートを実施できませんでした。来年度、仕事体験、職場体験実施の際にはアンケートを行い、「教職員と子供たちと事業所を繋ぐ」ための活動に取り組んでまいりたいと思います。今後とも御協力をお願いします。